

資料提供	
平成22年7月9日	
担当 (担当者)	文化財課 (北浦)
電話	0857-26-7937

平成22年度伝統芸能功労団体賞知事表彰について

このたび、平成22年度伝統芸能功労団体賞知事表彰の被表彰団体が決定しました。

記

1 被表彰団体

団体名	所在地	代表者	功績概要
ひおき おんどほぞんかい 日置はねそ音頭保存会	鳥取市	会長 たなだ しんいち 棚田 心一	昭和48年に保存会を結成後、長きに渡り活発に活動し、地域の小中学生への指導を通して後継者育成に取り組むなど、地域の伝統芸能である日置はねそ踊の保存伝承に尽力している。
こまつだにぼんおどりほぞんかい 小松谷盆踊保存会	南部町	会長 うめはら ひろちか 梅原 弘誓	昭和54年に保存会を結成後、長きに渡り活発に活動し、南部中学校などへの指導を通して後継者育成に取り組むなど、地域の伝統芸能である小松谷盆踊の保存伝承に尽力している。

2 表彰式

表彰式は、とっとり伝統芸能まつり（鳥取県・鳥取県教育委員会主催、第46回郷土の民俗芸能大会と併催）の開会式で行われます。被表彰団体には、賞状と記念品が授与されます。

なお、両被表彰団体とも、とっとり伝統芸能まつりに出演し、芸能を披露する予定です。

(1) 期日 平成22年8月8日（日） 午後1時30分から

(2) 会場 鳥取県立倉吉体育文化会館（倉吉市山根529-2）

3 表彰の概要

(1) 趣 旨 県内の伝統的な芸能の保存団体の中で、後世への継承のために特に活発に活動を続けている団体に対し、その功労をたたえて表彰し、もって本県の伝統的な芸能の保存・継承を推進することを目的とする。

(2) 表彰者 鳥取県知事

伝統芸能の概要

日置はねそ踊（ひおきはねそおどり）

はねそ踊は、江戸時代の中期から因幡地方各地で伝承されてきた盆踊りの代表的なもので、裾をはね上げて踊る様子が「はねそ」の語源ともいわれている。

日置はねそ踊は、鳥取市青谷町日置地区の河原、山根の2地区で伝承されており、8月の旧盆頃や小学校の運動会などで踊り伝えられている。

踊りは舞に近い優雅な手踊りで、臼を積み重ねて作った音頭場に、広げた傘を持った音頭取りが立ち、その周りを輪になって踊る。

昭和49年に県指定無形民俗文化財に指定されている。

小松谷盆踊（こまつだにぼんおどり）

小松谷盆踊は、南部町の小松谷川に沿った御内谷、金田、井上、高姫、市山などに伝承されている古い形態の盆踊りで、現在は8月17日の夜に、「小松谷十七夜踊」として御内谷雲光寺脇で踊られている。

その発祥については、在地の城主が領民を慰めるために城内を開放して踊り明かしたという説と、雲光寺で本尊の縁日に念仏踊りをしたのが始まりとする説がある。背筋をまっすぐに伸ばした姿勢と、足の運びに特色があり、太鼓の調子と歌につれて、しなやかで優美な振りで踊られる素朴な盆踊りである。

平成7年に県指定無形民俗文化財に指定されている。

＜参考＞これまでの被受賞団体

年度	被受賞団体
H16	因幡の傘踊り保存会（鳥取市：県指定）、円通寺人形芝居保存会（鳥取市：県指定）、淀江さんこ節保存会（米子市：市指定）、日南神楽神光社（日南町：町指定）
H17	江波三番叟保存会（鳥取市：県指定）、倉吉打吹太鼓振興会（倉吉市）、米子盆踊保存会（米子市：県指定）
H18	覚寺麒麟獅子舞保存会（鳥取市）、覚寺さいとりさし保存会（鳥取市：市指定）、東郷町浪人踊保存会（湯梨浜町：県指定）、倭文神社大名行列保存会（倉吉市）
H19	賀露神社麒麟獅子舞保存会（鳥取市：県指定）、宇野三ツ星盆踊り保存会（湯梨浜町：町指定）
H20	三朝町さいとりさし踊り保存会（三朝町：県指定）、法勝寺歌舞伎保存会（南部町：町指定）
H21	せきがねさいとりさし保存会（倉吉市：県指定）、芦津獅子舞保存会（智頭町：県指定）

